

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和6年度長期就農研修 研修風景（12～3月分）

12月～3月分をまとめてお伝えします！

1年間の総まとめを行いました！



1年間の総まとめの様子

1月に研修生を参集し、これまで何を栽培し、どんなことを学んできたのか、苦労したこと、工夫したことなどを発表してもらいました。

併せて、R7年度長期就農研修生へのアドバイスも聞き取りました。

～R7年度長期就農研修生へのアドバイス～

【栽培品目関係】

- ・研修期間中に様々な野菜を栽培し、自分にあった野菜を探すと良い。
- ・品種は販売先によって求められるものが異なる場合があるので、栽培前によく確認すること。

【病虫害防除関係】

- ・病虫害の被害の拡大スピードは想像以上であることから、日ごろからよく観察して早めの防除を心がけること。
- ・他の研修生と品目が重複した際は、病虫害発生により他の研修生に迷惑をかけないように細心の注意を払うこと。

【青年等就農計画（認定新規就農者）関係】

- ・作成（申請）には時間がかかることから、8月頃から計画的に動くが良い。
- 農地や販路は、早めに確保すること。
- 農業機械やハウスなどを導入する場合は、補助事業は使わない前提で減価償却を考えること。

修了式を行いました！



修了証書授与



研修生あいさつ

3月12日に修了式を行いました。研修生に修了証書を授与するとともに、研修生一人一人からあいさつをいただきました。

～各研修生のコメント（一部抜粋）～

【神田氏】

- ・アグリカレッジ福島では、必要な時に必要な情報を得ることができた。
- ・研修生同士の情報共有、助言、他の研修生の工夫も大変参考になり、月1回のミーティングも良い機会になった。

【加藤憲子氏】

- ・きゅうりを春と夏の2回栽培し、特に病虫害防除への対応の仕方（早めに防除）が勉強になった。研修をとおして失敗の方が多かったが、この「失敗」を次回以降に活かせるところがこの研修の良い部分である。また、月1回の情報共有はとても勉強になった。
- ・この1年間の経験は、4月以降の就農にあたってとても役に立つ。今後はブルーベリーと養蜂がメインで三春町へ就農するが、所得目標が達成できるよう努力したい。

【高久氏】

- ・勉強になったことは多々あるが、特に病虫害防除や収穫のタイミングは多くの失敗を重ねた。この経験を次に活かしたい。
- ・4月以降は直売所がメインの販路になる。自分の名前を選んで購入してもらえよう、努力したい。

【松井啓喜氏】

- ・自然農法に挑戦したかったが、なかなか研修できる機関は少なかった。まずは受け入れてもらい、かつ自分のやりたいことを自由にやらせてもらいありがたかった。また、研修生の自主性を尊重する校風はとても良く、自分の肌に合っていた。
- ・月1回の研修進捗状況共有や、就農研修（中級）有機農業の研修も大いに役立った。
- ・今後はSNSを中心に、イベントにも積極的に出店し顧客を確保したい。

【橋本蒼士氏】

- ・実家は農家であり、家で手伝う時は複数人で作業していた。こちらは全て1人で作業する必要があることから、思いのほか大変であり、計画通りに作業が進まないこともあったが、こういった経験をすることができたのは良かった。
- ・同じような目標をもつ仲間に出会うことができ、かつたくさん話すことができた。